

作品上演

「或る日の漱石と夫人」

2018年4月執筆。川村ミチルの依頼でイベント用に書かれた作品だが、企画が実現せず未発表となった幻の短編。今回、それぞれ別の所で菊本氏にお世話になった2人の俳優が初めて出会い創る、本邦初公開の作品となる。

演出

川村ミチル

演出家、俳優
劇団そらのゆめ主宰
劇団天白月夜顧問



児童青少年演劇を専門とし、俳優として全国各地での公演活動を行うほかに、地域コミュニティ対象の演劇講座、表現教育授業、保育士、教員へ向けての現職教育、学芸会指導、育脳塾での講師等を多く務める。創作市民劇を得意とし、合唱ミュージカル、オペラ、朗読劇等の演出、イベント企画・プロデュース、司会等も手掛ける。

出演



渡辺一正

(劇団スマイルバージョン)



木村好江



水野詩織

(劇団わに社)



バイオリン演奏
濱島秀行

人形美術 加藤典子

翁ひとり語り「嘆異抄異聞」

2005年10月、劇団舟木スタジオ公演として上演された作品。「歎異抄」を題材とし、親鸞聖人の生き様を舟木淳氏の重厚な語りで伝えていく。この作品で、舟木淳氏は『第10回 松原英治・若尾正也記念演劇賞』を受賞し、その後も、再演を重ねている。

演出

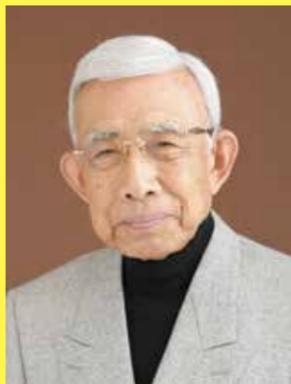
渡会りえ

演出家、舞台企画・制作
ヤマコ企画代表
自遊哉主宰



名古屋出身、東京在住。ヤマコ企画代表として、演劇・イベントの企画・プロデュース、演出を手掛ける。また、名古屋にて朗読団体「自遊哉」を主宰。年1回朗読公演を行うほか、地域の方々を対象に朗読講師を務める。近年の演出作品としては、2021年「忠臣蔵 梶川与惣兵衛にとつての…」(作 菊本健郎)、2022年「義人伝説―風説 坂上田村麻呂―」(再演) (作 菊本健郎)、語謡案「青柳のはなし―具―」(原作 小泉八雲)がある。

出演



舟木淳

こどもと、こどものころをたいせつにしたいおとなのためのミュージカル

「ごきげんなすてご」

原作・いとうひろし

1993年、俳優館の学校公演のために書かれた作品であり、日本全国の学校を巡演。王道のミュージカルの要素の含まれた作品です。

演出

ほりみか

演出家
M,カンパニー主宰



三歳より 奥田敏子にモダンダンスを師事その後、ジャズ、タップダンスを向井十九(東宝)、クラシックバレエを佐々良子に学ぶ。『三文オペラ』(鈴木完一郎演出)、『メリーウイド』(宮本亜門演出)、『マイフェアレディ』(中村たかお演出)等、数多くのミュージカルに出演。NHK名古屋放送局報道番組ディレクター、総合劇集団俳優館10年間所属の後、フリーとなり夏休みファミリー劇場、小牧、知立、四日市など各地の市民ミュージカルや市民劇、合唱ミュージカルの演出、振付を手掛ける。平成14年度東京都優秀児童演劇選定奨励賞受賞(ミュージカル『ムクバクとチャチャネコ』)三重大学人文学科卒業、日本演出者協会所属、愛知文教女子短大講師



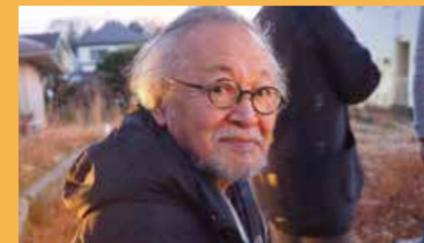
出演

上野 裕、藤田 裕貴、小川 真菜、松村 真唯奈
直井 湧澄、丹羽 春乃、板津 杏奈、山田 萌衣
山北 泰平、田村 彩葉、佐藤 優衣、上村 唯夢
紺藤 留伊

本番スケジュールは裏面をご覧ください

座談会「菊本健郎を語る会」
& アフタートークショー

特別ゲスト



ふじたあさや

劇作家・演出家。1934年東京生まれ。早稲田大学文学部演劇専修中退。元昭和音楽大学ミュージカルコース教授。代表作に『日本の教育1960』『さんしょう太夫(斉田戯曲賞受賞)』『しのだづま考(芸術祭賞受賞)』『サンダカン八番娼館(脚色)』『ベッカニコおに(脚色)』『臨界幻想』ミュージカル『ねこはしる』等、代表演出作品に『うたよみざる』『羽衣』『12人の怒れる男』『杜子春伝』等、伝統から現代、対話劇からミュージカル、記録的演劇から児童劇と作風は多岐にわたる。日本演出者協会理事長の他、(社)日本劇団協議会、日本劇作家協会、(社)日本芸能実演家団体協議会、日本児童・青少年演劇劇団共同組合、アシテジ(世界児童青少年舞台芸術協会)世界理事、NPO法人KAWASAKIアーツ理事長等、業界団体役員を歴任。川崎市文化賞受賞。

司会



はせひろいち

劇作家、演出家、劇団ジャブジャブサーキット代表。岐阜大学卒業後、新聞社勤務を経て演劇畑に。書き下ろし戯曲は110本を越す。観客との想像力共有論、繊細な会話研究、知的エンターテイメントが身上。松原・若尾記念演劇賞、名古屋市芸術奨励賞など受賞多数。過去3回岸田戯曲賞の最終候補に残る。現在、日本演出者協会理事、日本劇作家協会員。岐阜大、静岡文化芸術大、名古屋音楽大で講師。戯曲塾の塾長を長久手市で22年、岐阜市で16年継続中。

座談会「菊本健郎を語る会」出演
川村ミチル、白濱洋介、舟木淳、ほりみか
渡辺一正、渡会りえ
アフタートーク出演
川村ミチル、ほりみか、渡会りえ

＝ チケット料金・取扱い ＝

内 容 : 「或る日の漱石と夫人」 演出 : 川村ミチル
座談会「菊本健郎を語る会」 司会 : はせひろいち
出演 : 川村ミチル、白濱洋介、ふじたあさや、舟木淳、ほりみか
渡辺一正、渡会りえ
翁ひとり語り「嘆異抄異聞」 演出 : 渡会りえ
「ごきげんなすてご」 演出 : ほりみか
アフタートーク 出演 : 川村ミチル、ほりみか、渡会りえ
(各休憩あり)(休憩時のみ入退場可)

2023年
1/28(土) 13時開演
[12時30分開場]

料金 2,000円

会場：芸術創造センター リハーサル室

■チケット取扱い

- 日本演出者協会 東海ブロック TEL予約(080)4536-9570(みなみ) / Web予約 日本演出者協会東海ブロックHP
- 名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL(052)249-9387(平日9:00~17:00/チケット郵送可)
- ★名古屋市文化振興事業団が管理運営する施設窓口(文化小劇場、芸術創造センター、青少年文化センター(アートピア)、市民ギャラリー栄、演劇練習館(アクテナ)、東山荘、名古屋能楽堂)

参加、見学、観劇の皆様へ

- ・マスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。
- ・会場への入室前に 検温、手指の消毒などをお願いします。
(検温の結果 37.5度以上の場合は入室をお断りいたします)
- ・参加者名簿【氏名及び連絡先】の作成にご協力ください。
(この情報は、感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供することがあります)
- ・スタッフはマスクを着用し、毎日の検温、体温チェック、マスク着用、こまめな手洗い、手指の消毒の徹底を行います。



新型コロナ
ウイルス感染
拡大防止対策
実施中

お問合せ：日本演出者協会 東海ブロック (みなみ) TEL.080-4536-9570